

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	子ども虐待防止事業			事業番号	014-057
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども家庭
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(5) 厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実
			有	取組の方向性	③重大な児童虐待ゼロをめざした取組		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(6)平和と公正をすべての人に	ターゲット	16.2
			有	取組	児童虐待の防止に向けた取組の強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画					
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、堺市子どもを虐待から守る条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	子ども虐待防止に関わる関係機関と市民
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	子ども虐待の未然防止、虐待の早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもの保護とその保護者への家庭統合に向けた支援
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	◎関係機関の連携・・・市全体の虐待通告の把握及び各機関の調整や情報の集約、分析を行うほか、関係機関間の連絡会議や研修の実施等を行う。 ◎虐待防止等の啓発・・・虐待に関する理解や認識を深め、虐待に気づいた際に、どこへ相談・通告したらよいかを幅広く周知するための啓発を行う。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標				
	虐待の未然防止および重篤化防止に向けた関係機関による早期発見・早期対応				
	当該目標を設定した理由	重大な児童虐待ゼロのために必要な取組のため。			
	目標に対する実績	オレンジ・パープルリボンキャンペーン等の啓発活動、虐待相談対応、ケース連絡会、個別ケースカンファレンスの実施。			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標
	虐待相談対応件数		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		目標値	-	-	-
		実績値	3,778	集計中	
	達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	早期対応及び継続的な支援により児童虐待の重篤化を防止することに寄与するため。			
	目標値の設定根拠・算出方法	現状把握の指標として設定しており、対応件数の増加をめざしているのではないため、目標値は設定しない。			

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	子ども虐待防止事業	事業番号	014-057
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	18,459	15,330	22,512	15,929	21,786
財源内訳	国支出金	972	498	3,134	1,940	4,140
	府支出金	143	99	202	31	168
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	17,344	14,733	19,176	13,958	17,478
14	人件費 (b)	9,950	9,900	10,000	10,000	10,000
15	年間経費(c)=(a)+(b)	28,409	25,230	32,512	25,929	31,786

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	R3				R2	R3		
16	会計年度任用職員報酬	R2	決算	9,549	9,549	通信運搬費	R2	決算	251	251
		R3	予算	10,753	10,753		R3	予算	277	192
	期末手当(会計年度任用職員)	R2	決算	1,721	1,721	オレンジリボンキャンペーン推進事業委託料	R2	決算	220	110
		R3	予算	1,824	1,824		R3	予算	260	130
	費用弁償(通勤費)	R2	決算	405	405	児童虐待LINE相談に要する他市への負担金	R2	決算	3,283	1,642
		R3	予算	576	576		R3	予算	6,939	3,470
	消耗品費	R2	決算	44	23	会場等借上料	R2	決算	76	76
		R3	予算	210	105		R3	予算	48	16
	印刷製本費	R2	決算	243	122	その他(費用弁償等)	R2	決算	137	59
		R3	予算	247	146		R3	予算	652	266

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 虐待相談対応件数	件	3,778	
② 上記①にかかる年間経費	千円	20,753	19,549
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,493	
備考(算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	児童虐待対応件数は微減・横這いの傾向となっている。この事業において費用対効果を図ることは困難であるが、子ども虐待の未然防止、虐待の早期発見・早期対応、虐待を受けた子どもの保護とその保護者への家庭統合に向けた支援に繋がっている。
----	---

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	重大な児童虐待ゼロをめざした取組として、各区民まつりや堺プレイザーズの協力による啓発活動等といった市独自の啓発活動をはじめ、オール大阪での児童虐待防止の取組や近畿2府4県4政令指定都市との共同取組等の広域での児童虐待防止の取組を連携して行っており、また、市全体の虐待通告の把握及び各機関の調整や情報の集約、分析を行うほか、関係機関間の連絡会議や研修等の実施を行っている。
----	---